



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 静甲株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 鈴木 武夫 TEL 054-366-1106
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,699	△14.1	74	109.6	118	44.4	△33	—
2020年3月期第2四半期	15,957	4.2	35	216.9	81	96.7	20	442.8

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 163百万円（689.8%） 2020年3月期第2四半期 20百万円（△64.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△5.22	—
2020年3月期第2四半期	3.22	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,400	14,107	60.3
2020年3月期	23,839	13,995	58.7

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 14,107百万円 2020年3月期 13,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	8.00	21.00
2021年3月期	—	8.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 2020年3月期の第2四半期末配当金につきましては、創業80周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△1.0	450	12.8	490	1.0	280	4.5	43.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	6,483,323株	2020年3月期	6,483,323株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	52,434株	2020年3月期	52,434株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	6,430,889株	2020年3月期2Q	6,430,819株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済・社会活動の急速な停滞の影響から景気の悪化が続いております。第2四半期に入り緩やかな回復の兆しがあるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、産業機械事業は前年同期の実績を上回りました。一方、電機機器事業、車両関係事業、冷間鍛造事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年同期の実績を下回りました。

これらの結果、売上高は、前年同期比14.1%減の136億9千9百万円となりました。

利益面では、産業機械事業で第1四半期に売り上げた大型機の利益率が高かったことに加え、旅費交通費、広告宣伝費などの販売費及び一般管理費が減少したため、経常利益は前年同期比44.4%増の1億1千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は3千3百万円（前年同期は2千万円の利益）となりました。

なお、当社グループでは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として当連結累計期間に1千4百万円を計上しております。

〔産業機械事業〕

包装機械は、大型の液体充填ラインの売り上げが増加したため前年同期の実績を大きく上回りました。受注面ではアルコール製剤、消毒液、石鹼、洗剤等の設備の需要が高まり、医薬品、洗剤メーカーからの商談、受注がスポット的に増加しております。これらの結果、売上高は、前年同期比22.6%増の33億7千9百万円、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比334.9%増の4億4千7百万円となりました。

〔冷間鍛造事業〕

自動車部品は第2四半期に入り需要の回復がみられるものの、自動車メーカー各社の生産縮小や工場の停止により前年同期の実績を大きく下回りました。また、電動工具部品、産業機械部品においても前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比11.6%減の6億2千9百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比97.5%減の0百万円となりました。

〔電機機器事業〕

冷熱機器、空調機器、空調機器用部材は、前年同期の実績を上回りました。一方、主力のFA関連機器は、自動車関連などの静岡県内製造業向け案件が延期や中止となったため前年同期の実績を大きく下回りました。また、設備機器は、前年同期のような大型案件がなかったため、前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比9.3%減の25億3千9百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比25.5%減の1億6千9百万円となりました。

〔車両関係事業〕

車両関係事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響を大きく受け、5月末までは時短営業とし、6月には就業時間を1時間短縮するなど、感染拡大防止に努めつつ、一方でオンライン商談を導入し受注の確保にも努めました。上記の理由により、新車販売、中古車販売、サービス部門、輸入車販売において前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比26.3%減の70億9千5百万円、セグメント損失（営業損失）は1億5千6百万円（前年同期は1億3百万円の利益）となりました。

〔不動産等賃貸事業〕

売上高は、前年同期比6.3%減の5千7百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比20.0%減の1千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、234億円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千8百万円減少いたしました。

この内、流動資産は115億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1千万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少10億円、現金及び預金の増加5億5千6百万円、商品及び製品の減少3億7千7百万円によるものであります。

固定資産は118億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千2百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の増加4億2千4百万円、建設仮勘定の増加1億3千8百万円によるものであります。

負債合計は92億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千1百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少8億8千1百万円、借入金の増加7億4千5百万円によるものであります。

純資産合計は141億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千2百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加1億9千7百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により合理的に算定することが困難であったことから未定とさせていただいておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ作成いたしました。詳しくは2020年10月23日に公表いたしました「業績予想のに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,658,105	5,214,369
受取手形及び売掛金	3,544,911	2,544,486
電子記録債権	399,670	366,635
商品及び製品	1,977,108	1,599,636
仕掛品	1,082,650	1,403,722
原材料及び貯蔵品	26,765	27,223
その他	708,019	421,885
貸倒引当金	△18,913	△10,568
流動資産合計	12,378,317	11,567,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,889,500	3,839,217
土地	3,358,323	3,358,323
その他(純額)	1,635,115	1,651,935
有形固定資産合計	8,882,939	8,849,476
無形固定資産	208,509	212,112
投資その他の資産		
投資有価証券	1,857,151	2,281,281
その他	521,469	499,564
貸倒引当金	△9,360	△9,370
投資その他の資産合計	2,369,260	2,771,475
固定資産合計	11,460,709	11,833,064
資産合計	23,839,026	23,400,455
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,092,620	2,211,247
短期借入金	1,519,996	2,299,998
未払法人税等	174,945	140,306
賞与引当金	489,862	504,768
製品保証引当金	43,864	45,455
その他	2,696,140	2,213,705
流動負債合計	8,017,429	7,415,481
固定負債		
長期借入金	935,015	900,013
役員退職慰労引当金	269,296	246,767
退職給付に係る負債	121,878	130,007
資産除去債務	141,983	142,405
その他	357,909	457,796
固定負債合計	1,826,083	1,876,990
負債合計	9,843,513	9,292,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,151,288	3,151,288
利益剰余金	10,148,239	10,063,215
自己株式	△28,593	△28,593
株主資本合計	13,370,934	13,285,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624,578	822,071
その他の包括利益累計額合計	624,578	822,071
純資産合計	13,995,513	14,107,982
負債純資産合計	23,839,026	23,400,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	15,957,848	13,699,909
売上原価	12,937,725	10,832,187
売上総利益	3,020,122	2,867,722
販売費及び一般管理費	2,984,600	2,793,270
営業利益	35,522	74,451
営業外収益		
受取利息	709	694
受取配当金	38,235	28,691
その他	35,220	44,393
営業外収益合計	74,164	73,779
営業外費用		
支払利息	5,115	7,566
売上割引	20,079	19,703
その他	2,725	2,928
営業外費用合計	27,920	30,198
経常利益	81,767	118,033
特別利益		
固定資産売却益	1,677	436
特別利益合計	1,677	436
特別損失		
固定資産売却損	195	—
固定資産除却損	4,570	3,495
投資有価証券評価損	—	3,103
ゴルフ会員権評価損	3,675	—
特別損失合計	8,441	6,599
税金等調整前四半期純利益	75,003	111,870
法人税等	54,286	145,447
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,716	△33,576
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	20,716	△33,576

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,716	△33,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	197,493
その他の包括利益合計	38	197,493
四半期包括利益	20,755	163,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,755	163,916
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書における会計上の見積りに用いた新型コロナウイルス感染症の影響の及ぶ期間に関しては、各セグメントにより違いはあるものの、概ね2020年8月を底として緩やかに回復すると仮定し、会計上の見積りを行っております。